

FREE

ご自由にお持ちください。

No.804
2020 September

9

岐阜県の森林・林業

も り
森林のたより



News of the forest



ぎふ木育の2拠点オープン！



ぎふ木遊館 7月17日(金)オープン！



森林総合教育センター(morinos) 7月22日(水)オープン！



●詳細は3ページをご覧ください。



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

http://www.g-forestry.or.jp (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
9月1日(火)~ 10月31日(土)	緑の募金(秋期)	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに秋の緑の募金を行います。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577 FAX 058-273-7547
9月30日(水) 締め切り	令和3年用 国土緑化・育樹 運動標語の募集	令和3年用国土緑化・育樹運動のポスター等で使用する標語を募集します。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577 FAX 058-273-7547 E-mail gifu-ryokusui@mtj.biglobe.ne.jp
10月1日(木)~ 10月12日(月)	令和3年度森林文化 アカデミー入学試験 (第1回)願書受付期間	<ul style="list-style-type: none"> ●森と木のエンジニア科(推薦入試): 10月23日(金) ●森と木のクリエイター科(入試1): 10月24日(土) ●入学願書(学生募集要項)については、ホームページ(https://www.forest.ac.jp/)からダウンロードできます。 	森林文化アカデミー (美濃市曾代88) 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529 E-mail info@forest.ac.jp URL https://www.forest.ac.jp



イベントカレンダー(一般向け)	2
ついにオープン!『ぎふ木遊館』	3
morinos オープン!	3
山の歳時記(181) サンショウ	4
地域の人 これからも、杣杣交わり続ける大垣のこだわり『木杣』	5
シリーズ・森林文化の研究と実践②	5
「耐震化促進に向けての取り組み」	6
シリーズ・森林・環境税で緑豊かな清流の国ぎふづくり(5)	8
治山・林道研究課題	8
〜大規模崩壊の復旧について〜	9
山のおしゃまむし(350) 一救世主ではなく救世種、ギフチョウ	10
木の香るぎふの施設(90) 岐阜県立瑞浪高等学校 視聴覚室	11
森林と人を活かす知恵(92) morinosの木材利用	12
研究コーナー ヒノキ大径材の利用に向けて	13
普及コーナー 中濃地域の森林経営管理制度の現状	14
スマート林業通信(3) スマート林業研修会を開催	15
国有林の現場から(47) 飛騨・乗鞍山麓 五色ヶ原	16
保安林制度の概要	17
林業者向けお知らせ	17
市況	18

目次 Contents

岐阜県の森林・林業 No.804 9

森林のたより

News of the forest

ぎふ木育の2拠点オープン!







表紙 ●「ぎふ木遊館」「森林総合教育センター(morinos)」がオープンしました

ついにオープン!

ぎふ もくゆうかん 木遊館

• GIFU MOKUYUKAN •

新型コロナウイルス感染症の影響で開館が延期されていた『ぎふ木遊館』が7月17日についにオープンし、開館から1週間で500名近い方にご入館いただきました。連日、手のひらや足のうらで木のやさらかな感触を感じながら、大型の木製遊具で体いっぱい使って遊ぶ姿が見られます。また、いろいろな樹種で作られた数多くの木のおもちゃをツールとして、親子や指導員とコミュニケーションをとりながら遊ぶ姿は微笑ましく思います。

人数制限や消毒の徹底のうえ、利用者にご安心安全に楽しんでいただけるよう、スタッフ一同、工夫を凝らしています。ご来館の際は、事前に下記までお電話ください。



【電話】058-215-1515 (ぎふ木遊館に「いこー!いこー!いこー!」と覚えてください)

morinos オープン!

7月22日、美濃市曾代の県立森林文化アカデミー内に森林教育の総合拠点が開所しました。式典には、基本設計・施工に関するご指導をいただいた建築家隈研吾氏や建物内のシンボリックな左官壁を制作いただいた著名な左官職人の挾土秀平氏をはじめ、連携市町村、林業関係団体など約40名のご出席をいただきました。

梅雨明けとともに、かなり暑い日が続きましたが、モリノス広場では、虫取り、水遊び、木工など子供たちが思い思いに楽しく遊んでいます。

引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底しながら、人と森をつなぐため、森の遊び場や様々な森林教育プログラムを随時提供してまいりますので、ご来場ください。

開館時間は10時～16時、休館日は火曜日、水曜日となっています。(一部有料プログラムあり)

森林教育プログラム例



森のようちえん



森で算数・英語



リラックス・ラン

【詳しくは、ホームページをご覧ください。】 [HP morinos.net](http://morinos.net) 電話 0575-35-3883



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

秋風を感じる里山で、赤い果皮と黒い種子が印象的なサンショウを見つけました。

サンショウ (*Zanthoxylum piperitum*) は雌雄異株の落葉低木で、枝に褐色の鋭い棘を対生させ、葉は奇数羽状複葉が互生します。複葉の小葉は長さ1〜2cmで縁に鋸歯があり、葉表は濃緑色で葉裏は帯白色で、これが5〜9対つきます。

5月に雄株に咲く花は「花山椒」として出荷され、7月頃までは雌

株の未熟な果実を佃煮にし、9月以降には赤褐色に熟したものを薬味に利用されます。

サンショウ属にはサンショウの他、イヌザンショウ、フユザンショウ、イワザンショウ、コカラズザンショウ、カラスザンショウ、ヤクシマカラスザンショウなどがあり、特にイヌザンショウはサンショウに似ていますが芳香が少なく、トゲが互生であるため見分けが容易です。

中国では同属別種で辛味や麻痺成分が多いカホクザンショウ (*Zanthoxylum bungeanum*) を「花椒 (ほあじゃお)」と呼び、古くから麻婆豆腐などの香辛料として使いました。また韓国に唐辛子が伝来する17世紀以前、高麗王朝が朝鮮半島を統治した時代の漬け物 (キムチの原形) にはサンショウが重要な薬味として、ニンニクやミカンの皮と一緒に用いられていました。

中国、明代の本草学者、李時珍

(りじちん、1518〜1593年) は、サンショウを分類しており、「蜀椒 (しょくしょう) は肉厚で皮には皺があり、その種子は黒光りしていて、まるで人の瞳のようであるので、椒目 (しょうもく) という。ほかの山椒の実も黒光りしているが、やはりこれには及ばない。もしも土椒 (いぬさんしょう) ならば、種子には光沢がない。」と記しています。

サンショウは古くから辛いものを表す「椒」の字をあて、「山の辛味」という意味で「山椒」と書きます。学名の小種名 *piperitum* は「コショウのような」という意味で、英名も *Japanese pepper* と表記されます。

サンショウの葉は料理のツマとして、また魚を煮る時には臭味消しとして利用されますが、果皮は粉末にして薬味や七味唐辛子の材料とされ、果実もぬか床などに利用されました。



▲サンショウの果実と葉

果実は漢方で「蜀椒、花椒」と称し健胃や鎮痛、駆虫に用い、日本薬局方に収載されている苦味チンキや正月に飲むお屠蘇の材料としても有名です。主な辛味成分はサンシオールとサンシヨアミド、他にゲラニオールなどの芳香精油、シトラールなどで体を温める効能があります。

アイヌ民族はサンショウを「サイソ」と呼び、内皮を煎じて痔に塗布し、果実や果皮の煎汁を健胃や整腸に飲用し、果皮の煎汁をかぶれやあかぎれ、水虫に塗布し、生の葉をもんで虫刺されに用いたのです。



大橋博行さん

ますます これからも、枡枡変わり続ける 大垣のこだわり『木枡』

有限会社 大橋量器
代表取締役

大橋 博行さん

水都・大垣市における「木枡」の生産量は、全国の8割を占め、日本一の生産地です。その「木枡」は、主に「東濃松」を原材料として、すべて「ヒノキ材」で作られる「清流の国ぎふ」を代表する素晴らしい木製品です。

今回、代表して、(有)大橋量器の大橋博行さんにお聴きしました。

●大垣で木枡の生産が盛んになったいきさつを聞かせてください。

江戸時代に木曾ヒノキの一大集積地だった名古屋で枡づくりが盛んになりました。その後、明治の中頃に、職人の一人が奉公を終えて大垣に戻り、枡の生産を始めたことがきっかけです。

●最盛期はどのくらいの量を生産されていましたが。

正確な記録は残っていませんが、私の子どもの頃の昭和50年代は、朝から夜遅くまで働き詰め、特にお正月を迎える秋以降から年明けまでは、従業員が「もう枡は見たくない！」と言ってしまうほど、とにかく忙しかったことを覚えています。当時のトップメーカーの書類には、最大一日1万個（現在は、約5千個）を生産していたとの記述があり、それから推測すると、市内で年間500万個ぐらいが生産されていたと思われる

多種多様な木枡商品



多種多様な木枡商品

●その後はどうなりましたか。

時代の流れとともに、お祝い事で樽酒の日本酒を使った鏡割り・乾杯をする習慣が、シャンパンやワインなどに取って代わられ、また、日本酒自体の売上も減少し、それ以上に枡の売上げも減少して、近年は、市内4者で200万個と減っています。また、それとともに、枡の原材料となるヒノキ材の入手先も限られるようになってきました。

●そのような現状に対してどのように対応されてきましたか。

片っ端から、全国の酒造メーカーに赴き、営業に回りましたが、良い話はありませんでした。また、ここ数年は、海外の日本酒ブームもあり、我々も販路を求めました。一方で、住宅着工戸数の減少に加えて、和室自体が造られなくなり、これにより枡の原材料としてきた付加価値の高い木材端材の安定調達の問題に直面しました。このため、県内外の製材所を回り、「東濃松」がメインですが、現在では、東は静岡、西は奈良・和歌山の製材業者まで約30者から仕入れることで間に合っています。

●本来の計量器としての利用法とは違った、多種多様な使い方・商品としても事業展開されていますね。

枡本来の長所や美点を守りつつ、社員一同がアイデアを出し合い、現代のライフスタイルに応じた商品開発に日々取り組んでいます。特に、年明け以降のコロナ禍では、枡の側面に「#stayhome」の焼き印を入れた「わたしたちはコロナに負けません。おうち時間を楽しみ枡！」の売上の一部を「国境な

き医師団の感染症危機対応募金」に寄付しています。また、市内の老舗染物店と共同開発した枡柄の布を使ったマスクの内側に、枡づくりの過程で発生する鉋屑で作ったシートを入れることで森林にやさしいような清涼感を味わえる「hinoki MASUKU」を開発・販売したりするなど、若者や女性の視点から私の世代では思いつかない発想で取り組んでくれてます。



「#stayhome」木枡

●「今後の夢」についてお聞かせください。

同じ大垣市内の上石津町産材を使った木枡の生産増など、さらに地域との結びつきを深め、発信していきたいですね。また、今後、コロナ禍の「新しい生活様式」が定着することになるでしょうが、これまで以上に暮らしと生活の周り、身近なところに「木枡」のアプローチを通じて、人々が望む「ちょっとした幸せ感」の幅を少しでも広げられたらいいですね。



「HAKOMASU」シリーズ

【西濃農林事務所 柘植孝久】

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0584-173-1111 (内線395)

西濃農林事務所 柘植孝久

シリーズ

森林文化の 研究と 実践

2

岐阜県立森林文化アカデミー
課題研究公表会要旨

「耐震化促進に 向けての取り組み」

—複数地震を考慮した耐震性の見える化—

森と木のクリエイター科 木造建築専攻(令和2年3月 卒業)
(現勤務先: 株式会社 薫田工務店)

森本 豊茂



1. 研究背景と目的

日本付近で発生するM6以上の地震回数は全世界の20%も占める程日本は地震国である。頻発する大地震の都度、数多くの住宅が罹災し、巷では「木造住宅は危ない」との声さえも耳にする。2016年の熊本地震では、震度7の地震が2回発生し、住宅被害は甚大であった。私はこれまで防災士として三重県内を中心に各種防災訓練の企画・実施、企業防災研修や自治体職員防災研修の講師、地域防災計画の審議等に係わってきた。住宅の耐震化は住まい手の意思によるものであり、第三者が手を出しにくい課題であると感じていた。そこで、人々が安心して住める家の普及を図るために、複数地震を含む地震による木造住宅の耐震性を検証したうえで、住まい手が客観視できる耐震化促進の啓発資料を作成し、利活用を進めることを目的に本研究を行った。

2. 住宅と複数地震のケーススタディ

木造住宅は本当に地震に弱いのか。複数地震への対応方法はあるのか。木造軸組住宅を時刻歴応答で倒壊解析するソフトであるwallstatを用いて、6棟の架空の木造軸組住宅を対象に解析を行った。なお、解析ソフトウェアは、その解析結果が動画として倒壊に至る過程が表示できるため、本研究の目的である「見える化」に最適であると考え、採用した。

解析結果の一例である同一モデルの耐震性能比較では、建築基準

法で定める建築物の存在期間中に一度は遭遇する大地震「極稀地震」(400gal)を入力波として各耐震等級モデルを解析した結果、全モデルが法の基準どおり倒壊・崩壊しなかった。次に実際の熊本地震観測データによる「熊本地震の前震と本震」を入力波として解析を行った結果、全モデルが倒壊・崩壊してしまっただけでなく、また「制震ダンパー」を付加して解析を行った結果、全モデルが倒壊・崩壊しなかった。

なお、各種の地震波を組み合わせて10パターンの複数地震を想定し解析を行った結果、熊本地震の本震を組み合わせた倒壊・崩壊してしまっただけでなく、その他の組み合わせでは倒壊・崩壊に至らなかった。益城町を直撃した本震の有したエネルギーの大きさ(M7.3)と各種耐震性向上策の必要

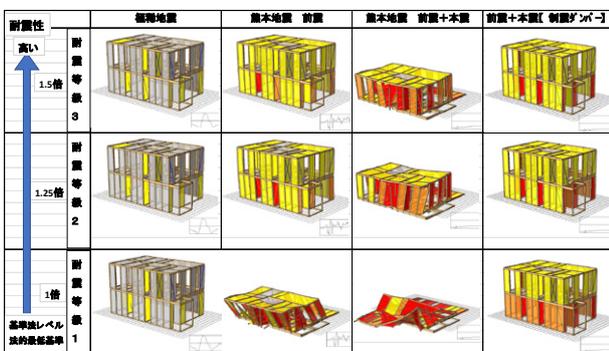


図1 大地震倒壊解析結果

性を改めて認識した。



図2 複数地震倒壊解析結果

3. ステークホルダーの意識

住宅のステークホルダーである「住まい手」、「作り手」、「自治体」に対して、意識等の調査を実施した。

(1) 「住まい手」

岐阜県内の3か所で、住民75名を対象に調査の結果、住宅の耐震性に対する関心度は高いものの、耐震診断を受診した

ことがあられる者は僅かであり「大地震は起こらない」「今さら耐震と言われても」というあきらめ感も見られ



図3 住まい手への調査

(2) 「作り手」

建築関係研修や建築イベントに参加した建築実務者60名を対象に調査の結果、大地震が来ると築浅の住宅でも倒壊・崩壊の恐れがあると認識しており、耐震化へ努力されてきた。特に、施主である住まい手へ耐震化の必要性を説明することが難しく、苦労されていた。



図4 作り手への調査

(3) 「自治体」

東海三県および岐阜県内2市の耐震化推進部署にインタビュー調査を行った結果、令和2年度中に耐震化率95%という国を挙げての目標に対して、補助金等の支援や全戸訪問など地域事情に応じた啓発活動を推進していたが、住民の心に届きれておらず、かつ、目標に対して現実との乖離が大きく、あきらめ感があることも否めない。



図5 自治体への調査

(4) ステークホルダーの課題

耐震化を促進するためには、①「住まい手」は耐震性の重要性を理解すること、②「作り手」は取り組む耐震性向上策を住まい手にわかりやすく伝えること、③自治体は住民の心

に届く啓発や費用補助等の支援を継続的に行うことが必要であると考えた。

4. 耐震化促進策の作成・検証

(1) 耐震啓発資料の作成
解析結果の動画を基に、耐震啓発のための「見える化」資料を次のとおり作成した。

・コンピュータによるスライド資料とした。
・「住まい手」が耐震化を意思決定することが第一であり、まずは耐震診断を受診することを強調した。
・複数地震による倒壊シミュレーション動画を基に「我が家が倒壊するのは怖い」と感じられ



図6 「見える化」資料(一部分)

るようインパクトがある映像を選択した。
・建築基準法は最低限の基準であり、工夫で「倒壊・崩壊は避けられる」という耐震化例も表示し、講ずる手はあるので、あきらめないことも加えた。

(2) 効果検証

作成した「見える化」資料の効果を検証するため「住まい手」34名を対象に提示した。77%が資料を見て「耐震性への考えが変わった」と回答し、「地震時にこの家にいたことを想像するとぞっとする」などの感想があった。

「作り手」20名に提示したところ、「住まい手さんも耐震改修をやるという気になる」「作り手にも有用な資料」等の感想を得た。
調査に協力いただいた5自治体の担当者からは「活用できないか検討する」「児童生徒向けのシミュレーション動画も作って欲しい」等、前向きな感想や意見があった。



図7 耐震啓発資料の検証

(3) 耐震化促進策の利活用

作成した「見える化」資料を活用するためには、組織力と信頼性があり、住民との接触機会が多い自治体を通じて利活用を進めることを考えた。そこで、調査をした5自治体に

対して、利活用される旨の提言書を作成し、2019年11月に説明のうえ提出した。また、本学HPにも掲載した。

5. その他

韓国の建築実務者団体である韓国木造建築協会の会長はじめ会員13名を訪問する機会があったため、「見える化」資料を提示した。77%が資料を見て「耐震性への考えが変わった」と回答し、「変わらない」と答えた方全員が「既に知っていた内容」と回答した。このことから、「見える化」資料は国内に居住する外国人にとっても、住宅の耐震性の理解に寄与できると考えられる。



図8 韓国木造建築協会での検証

6. まとめ

日本は地震国であり、住宅の耐震化は最重要課題である。木造住宅の耐震化技術は優れており、耐震化促進の決め手は、施主である「住まい手」が耐震性に関心を持ち、耐震化へ意思決定することである。そのため、啓発資料を作り上げた。

今後は時宜に応じて作成した「見える化」資料のさらなる充実を図りつつ、工務店での設計実務に携わる中、資料を活用して「住まいの安全・安心」に寄与してまいりたい。

治山・林道研究課題

治山、林道の各研究会では、日頃の業務で直面する課題について、調査・研究を行っています。今年2月に行われた発表会で発表された研究課題を紹介します。

大規模崩壊の復旧について

中濃農林事務所 小山 凌平

はじめに

岐阜県関市板取滝波地区において、平成30年7月豪雨により約12ヘクタールの大規模崩壊が発生しました。この大規模崩壊による人的被害は幸いにもありませんでしたが、レクリエーション施設、漁業に大きな影響を及ぼしました。この大規模崩壊に対し早期復旧に向けて行った、民有林直轄治山事業への流れを紹介します。



▲ 大規模崩壊の様子

崩壊の概要及び発見について

豪雨による大規模崩壊は、滝波山山頂南東斜面より約4ヘクタールの山腹崩壊が発生し、その崩壊土砂が流動化し、土石流が発生しました。土石流は、約2キロにわたり流出し、深い縦横侵食が生じました。その後、谷の狭窄部が天然のダムとなり大半の土砂が停止しました。

これだけの崩壊でありながら、発見に至るまでには時間がかかりました。豪雨の翌日、地元の方から、関市板取事務所に通報が入り、市職員、消防団、県職員により、2回現地調査を行いました。崩壊場所の特定はできませんでしたが、ここで、ヘリコプターによる調査を行ったところ、崩壊場所が特定できました。後日、詳細を調査するため、ドローン等を使用したところ、大規模崩壊の全体が確認できました。

直轄治山事業へ取り込み

調査の結果、この大規模崩壊地の復旧にかかる金額が40億円以上と想定され、今の体制では復旧が見込めません。そこ

関係機関との調整

民有林直轄治山事業に滝波区域の追加に向け、県で全体計画調査を行い、情報交換のため国、県、市の3者が集まり、現地の状況を確認し、意見を申し合ひ、今後の方針について調整を行いました。

で、隣接する、板取川地区民有林直轄治山事業の区域に滝波を変更で取り込んでもらえないか採択に向け動き始めました。

▲ 現地状況確認



▲ 意見交換会

早期復旧に向けて直轄治山、県治山、県砂防の3者で事業の区域分けを行いました。直轄治山では、発生源対策として山腹崩壊の復旧。

県治山では、溪流荒廢の復旧。県砂防では、既設堰堤の浚渫、堰堤の老朽化対策を行い、各々の役割を確認しました。

次に地元関係者も含めた4者で検討協議会を開催しました。早期復旧に向けた今後の計画説明、意

見聴取を行い、工事により道を通行止めにした際の対応など協力をいただくことができました。これにより、国から滝波区域の追加による直轄治山事業の変更が認められました。



▲ 検討協議会

また、復旧していく3者で地元関係者に詳細な工事説明を行い、感謝の言葉をいただきました。

最後に

今回の大規模崩壊において国、県、市、地元が一丸となり素早く対応し、情報共有を行ったことで、早期に事業着手することができました。いつ起こるか分からない災害に対応するには日頃からの情報共有が必要だと思います。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-3314011

中濃農林事務所まで



山のおじまむし



一救世主ではなく救世種、ギフチョウー【第350回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

人間誰しも年をとる。年をとれば体力低下、気力の萎え、病院通い、すぐ忘れるなどの症状が出てくる。当然、後期高齢者の私もこの該当者。中でも、物忘れ。これはひどい。人の名前、前日の行動がすぐに思い出せないなど、数えればきりがない。ところが、昔のことはよく覚えているから不思議だ。私の場合は昆虫採集のこと。特にカミキリムシやゾウムシなどの甲虫類を採り始めた高校生の頃だ。もう60年も前なのに、よく覚えている。当時、虫好きの友がたくさんいて、競って採りあったものだ。捕虫網を持って走り回る光景。今でも目に浮かぶ。しかし、これらの友は次々と天国へ旅立ち、残っているのは私一人。寂しさとともに、月日の経つのは早いものだとつくづく思う。また、多くの虫マニアが大喜びするのは大珍品と呼ばれる貴重種を採ったときだろう。私は新種など10種以上採っているが、これらについては何年何月何日に何処でどんな方法で採り、一緒にいたのは誰かなどをはっきり覚えている。私生活も同じだ。虫と同じで、昔のことはよく覚えている。それも若き日の青春時代の思い出。語って、歌って、笑って、涙した当時の出来事が次々と脳裏に浮かんでくる。ところが、あることが私の脳裏から消えていた。それも信じられないようなこと。ショックだった。

× × × ×

それに気づいた始まりは、今年の1月半ばに届いた1通の手紙。差出人は名古屋市のM氏。高校の同級生だ。卒業後、年賀状のやり取りはしているが、ほとんど会うことはなかった。そのM氏から突然手紙が来た。手紙には次のようなことが書いてあった。「貴方は昨年暮れにあばら骨を2本も骨折し、大変痛い目にあわれたとのこと。そのお見舞いをかねて、一緒に食事をしたいのですがどうでしょうか」というお誘い。彼とは30年以上会っていないはずだ。間違いではないかと思った。彼の顔が目に浮かんできた。しかし、最近会っていないので、目に浮かぶのは若いころの顔。今はどんな風貌で、何をしているのか。私も会いたくなった。早速電話をかけた。久しぶりに聞く彼の声。歳を感じさせる声だった。彼は食事をしながら、いろいろ話し合いたいという。詳しいことはその時に話すということだった。

× × × ×

当初は2月中旬を予定していた。それが、新型コロナの影響で7月2日になってしまった。実に5か月間も待ったのである。私たちもコロナの被害者だと、二人で笑いあった。食事をしたのは私の住んでいる各務原市の高級料理の店。料理の予約などはすべて彼が手配してくれた。彼とは何十年も会っていない。わかるだろうか。少々不安だった。しかし、すぐわかった。面影が残っていたのである。これが同級生だと思った。料理が出てきた。

すると彼は「君にはギフチョウのことで迷惑をかけた。そのお礼をしていないので、骨折のお見舞いを口実に、食事に誘った」と言い出した。このギフチョウのことは私も覚えている。当時彼は大手の銀行員で東京勤務。その時、彼から電話があった。「お客が蛹から出てくるギフチョウを見たいと言っているが、何とかならないか」という。早速、ギフチョウの蛹を送った。何日か経って再び電話があった。「蛹から成虫になって、すごく感動された。さらに野外で飛んでいるのを見たいと言われるのだが、これも何とかならないか」という。数日後、彼はその人を含め3名でわざわざ岐阜市へ来た。その人は野外で舞っているギフチョウを見て大感激。喜んで帰られた。ただ、これだけのことである。それが何で今になって、お礼とはと思った。彼は言った。「ギフチョウのお陰であの人と親しくなり、ずいぶん助けられた。精神的にすごく楽になった」という。「これもギフチョウとそれを準備した貴兄のお陰だと、改めて頭をさげた。私は思った。当時彼は精神的に追い詰められ、苦しい日々が続いていた。それがギフチョウによって救われたのであろう。その時の気持ち。私も似たような経験があるので、よくわかった。私は彼の好意を受けるところにした。ギフチョウは、私にすればどこでも見られる、いわゆる普通種。しかし、彼にとっては救世種だと思った。彼を救った救世主だからである。



▲羽化したばかりのギフチョウ

× × × ×

話が弾んだ。話題になるのはやはり高校時代のこと。当時のことを思い出して懐かしくなった。楽しいひと時であった。しかし、卒業後の話はほとんど出なかった。疎遠となり、よく覚えていないのである。どんなことがあったらうと、日記で調べてみた。いろいろあったが、ほとんどがうろ覚え。頭に浮かんでこない。特に彼の結婚式。出席していたのに、全く記憶がないのである。ショックだった。そう言えば、彼は私の結婚式に出席していなかった。当時「結婚式に呼ばれたら、呼び返す」というのが常識。案内状は出しているはずだ。しかし、出席していない。これは私が案内状を出していなかったからだと、今になって思う。そうなるなら案内状を書く時には、すでに彼の結婚式に出席していたことを忘れていたことになる。またまた、ショックであった。



岐阜県立瑞浪高等学校 視聴覚室

岐阜県瑞浪市土岐町7942



施設の経緯

本校は、竣工から50年近く経過し、長年にわたり、多くの生徒たちに利用され親しまれてきた視聴覚室の壁や床は老朽化による剥がれやひび割れが目立つようになっていました。

今回の内装木質化工事により、壁と床に県産のヒノキ等を用いた結果、温かな色味に富んだ室内に生まれ変わりました。

施設概要

事業年度	平成30年度
事業主体	岐阜県
構造 延床面積	鉄筋コンクリート造 1,009.92㎡
施設用途	視聴覚室
木材使用量 使用樹種	3.449㎡ ヒノキ（ぎふ証明材）
全体事業費	10,334,520円
設計者	(株)エイ・ケイ設計
施工業者	(株)永井設計工務
工期	平成30年11月13日～平成31年3月15日



利用者の様子

木の持つ温かみと香りに包まれた空間の中、生徒たちも気持ちよく過ごすことができます。

■問い合わせ先
県立瑞浪高等学校 事務室
TEL 0572-68-4161



森林文化アカデミーに日本で初めての「森の入り口施設」ができました。その名も【morinos(モリノス)】です。どうですか。かっこいいですね。森林文化アカデミー教員の萩原ナバ先生の発案で、木造建築専攻学生の設計からスタートし、特別招聘教授の隈研吾氏が意匠原案を作成いただき、建築専攻教員を中心に多くの方の協力で完成した建物です。岐阜県が誇る名建築の仲間入りを果たしました。

morinosの木材利用

岐阜県立森林文化アカデミー 講師 ● 松井 匠



今回はこのmorinosの「木材利用」について書くと思います。morinosは、木材の多彩な利用方を見ることのできる博物館のようになっています。

すべて県産材

まず、このmorinosは、巨大な丸太から小さな壁の下地材まで、木部をすべて岐阜県産材でつくりました。これから紹介する各部分もすべて岐阜県産材です。

V字丸太は演習林から

5対のV字丸太がこの建物のトレードマーク。県有林であるアカデミー演習林で育った100年生のヒノキです。構造計算と意匠デザインで決まったサイズは末口径330mm(胸高直径450mm程度)で7mの真っ直ぐな丸太。なかなかの上物です。この木を探しに行くところから始めて、林業教員と学生と一緒に伐採・搬出を行いました。

大断面集成材

製材だけでなく、集成材も使っています。集成材は強度をデザインできるので、製材よりも小さな寸法になるのですが、それでも大梁の成は450mm! なんと! という大きさ! 室内で梁が大きく見えると圧迫感が生まれて狭く感じってしまうので、天井スリットを調整してちょうど良い大きさに見えるように設計しています。

樹皮付き方立

morinosは屋外との繋がりを大切にしたいガラス張りの外壁。ガラスを押し当てている「スギの方立」は樹皮がついたままになっています。これは、外部は丸太と樹皮で自然のままの姿を連想させ、室内に入ると加工された木になる、山から暮らしへ木が降りてくるという表現でもあります。乾燥時にPPバンドで固定し遠赤外線木材乾燥機を用いた人工乾燥で実現しました。

表層圧縮・ACC・圧密の床材

床には三種の床材が使われています。デッキは「表層圧縮」したスギ。樋下のあたりには、ヒノキに防腐防蟻薬剤であるACCを注入した材を使っています。そして室内には「杉圧密フローリング」を使用しました。30mmの杉板を15mmまで圧縮したあとUVセラミックコーティングを施して、摩耗に強く木目もきれいに見える仕上げになっています。

CLT・構造用合板

morinosにはスギ3層のCLTが使われています。屋根の中で構造用合板と併用して、建物の耐震性を上げています。

「広葉樹のベンチと取っ手」「針葉樹を燃やせるストーブ」といろんな木材利用がまだあるのですが、書ききれない! オープンしたmorinosにぜひお越しください。



ヒノキ大径材の利用に向けて

森林研究所 ● 土肥 基生

はじめに

人工林の長伐期化に伴いヒノキの大径化も進んできました。現状ではヒノキ材は「柱」や「土台」用として直径18〜24cm程度の丸太から心持ちの1丁取りで製材されるケースが多いのですが、今後は「梁桁」用の平角製材が増加することが考えられます。さらに、心去り木取りで製材した正角材を縦方向に接着した「接着重ね材」(図1)とすることで、大径材の強度特性(辺材側で高い強度が期待できる)を活かした構造部材を作ることができます。大断面の平角材はレッドウッド集成材やベイマツの使用割合が高いことから、こうした外材の代替としての利用も期待できます。このため、森林

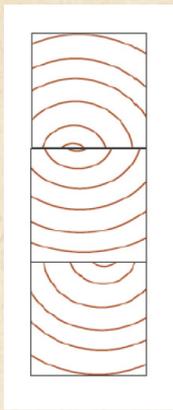


図1 接着重ね材

研究所では今年度からヒノキ接着重ね材の開発をテーマとした研究に取り組んでいます。

利用に向けた課題

接着重ね材としての利用を考えた場合、いくつかの課題が挙げられます。

1つ目は強度です。集成材やベイマツの代替となるには高い強度(ヤング係数^{*})が求められます。木材の強度は1本ごとにバラつきがありますが、統計的にどの程度の強度が期待できるかを明らかにするため数多くの試験体を製作し強度データを取得する必要があります。

2つ目は接着条件です。接着剤は県内企業の設備でも扱いやすい水性高分子イソシアネート系タイプの使用を想定していますが、ヒノキでは精油成分が接着性に影響を与えるという報告もあり、塗布量やプレス時間など適切な接着条件を探る必要があります。

3つ目は接着前の製材エレメント(正角材)の加工技術です。製材エレメント

は心去り材の使用を想定しているため一定の「反り」が発生します。歩留まりを向上させるため「反り」低減の対策や、乾燥後の仕上がり含水率が接着性に与える影響等を調べる必要があります。

^{*}ヤング係数…強度を表す指標の1つ。数値が高いほどたわみにくいことを示す。



図2 丸太ヤング係数の測定

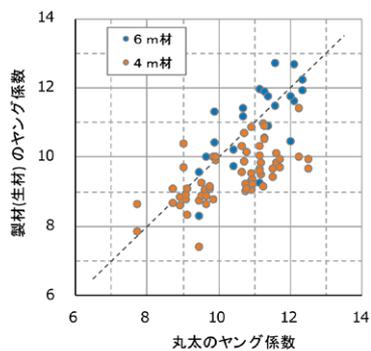


図3 丸太と製材のヤング係数の分布

一連の試験は開始して間もないためデータは少ないのですが、ここでは1つ目の課題に関連したヒノキ材のヤング係数について述べます。図3は、特に強度指定をせずに調達したヒノキ丸太(6m及び4m)と、これらから製材した正角材(乾燥前)のヤング係数を示しています。両者は相関の関係にあるのですが、それぞれ分布に幅があることが判ります。製材のヤング係数は乾燥処理を行うことで全体的に上昇すると思われるが、バラつき自体は残ります。ごく一部の数値の高い材を使えば高強度の重ね材を作ることが可能ですが、実用化のためには平均値程度の材を有効に利用することが求められます。

おわりに

今回の研究課題は木材加工業界の協力により試験を進めていますが、ここ数カ月の新型コロナウイルス感染拡大により業界にも影響が出始めています。森林研究所としてもスピード感をもって研究を推進したいと考えています。



● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-331-2585

森林研究所まで



中濃地域の森林経営管理制度の現状



■中濃農林事務所林業課 土屋 幸弘

昨年4月から始まった新たな森林経営管理制度について、中濃農林事務所管内の2市の取り組み状況を紹介します。

関市の取り組み

〔令和元年度の取り組み〕

関市では、(一社)日本森林技術協会を地域林政アドバイザーとして迎え、せき森林づくり委員会の意見を聴きながら、森林経営管理の意向調査実施区域の選定基準の策定を行いました。

また、所有者の把握のため、市が保有する紙面の字絵図からGISに表示できる地番図を作成しました。

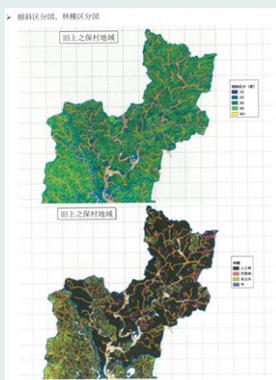
〔意向調査実施区域の選定〕

選定基準の策定にあたっては、次のデータ等をGIS上に表示し地域ごとに分析を行いました。

- ・森林簿・公益的機能別施業森林、林齢、樹種、森林所有者情報
- ・CS立体図(H23年度レーザー測量データ)
- ・5mメッシュDEM・傾斜区分

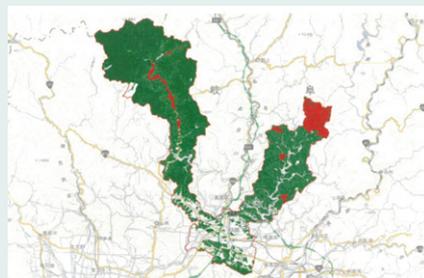
〔施業適地の抽出〕

市内を旧板取村地域、旧武芸川町地



▲傾斜区分図・林種区分図

域、旧洞戸村地域、旧関市地域、旧武儀町地域、旧上之保村地域の6地域に分けて分類・解析を行い、その上で地籍調査の実施の有無や市内に居住している森林所有者数、緊急度の高い地域等の項目を加え施業優先度マップを作成しました。



▲施業優先度マップ
(赤いところが優先度が高い地域)

その結果、人工林が多く、かつ地籍調査が進んでおり所有者の特定しやすい旧上之保村地域において、まずは、意向調査を実施することとなりました。

〔令和2年度の取り組み〕

令和2年度は、地域林政アドバイザーにフォレストメディアワークス(株)の平井和子さんを迎え、意向調査の実施、調査結果のとりまとめまでを行う予定です。

平井さんは、以前、この地域の林業事業体で森林経営計画作成等の業務をされていました。自らの手で林業を実践したいという希望から高知県佐川町へ移られました。

佐川町は、地域の雇用と森林資源の

活用の観点から自伐型林業を推進しており、そのために、担い手育成、林地の集約、森林情報の整備を3つの柱として施策を進めています。

・担い手育成・国の地域おこし協力隊制度を活用し、3年の任期中に研修等で林業に必要な技術、資格の習得を支援

・林地の集約・町が個人の森林を集約し、森林所有者と20年間の管理契約を締結するとともに、町は、その施業を育成した自伐型林業事業者等へ委託しています。

また、森林所有者へは、間伐材の売上の一部を還元するという取り組みを行っています。

・森林情報の整備・森林クラウドシステムを導入しました。
まさに今行われている、森林経営管理制度の先駆けのような取り組みと言えます。

その中で、地域おこし協力隊の任期後、林地の集約化の推進を担っていた平井さんを今年度から関市の地域林政アドバイザーとして迎えられたことは、力強いことです。

今年度は、まずは旧上之保村地域において意向調査を実施することとなっています。
で、現在は、12月の調査票送付に向けて準備を進めているところです。



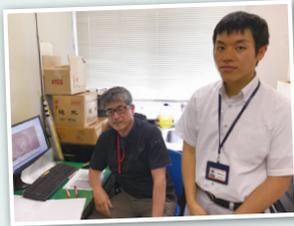
▲平井さん(左)と関市担当者の吉田さん

なお、関市では、今年度、航空レーザー測量データ解析により森林資源量の把握や地形解析を行い、意向調査の基礎資料を整備することとしています。

美濃市の取り組み 〔令和元年度の取り組み〕

美濃市では、岐阜県地域森林監理士活用事業を活用し、NPO法人柚の杜学舎の鈴木章さんを地域林政アドバイザーとして迎え、美濃市森の環境づくり推進委員会に語りながら取り組みをしてきました。

活動にあたっては、任意委員会である「美濃市森林経営管理制度に関する検討委員会」を設置し、意向調査の実施個所の選定等について検討を行ってきました。また、航空写真、赤色立体図の表示等林地台帳システムの改修も行いました。



▲鈴木さん(左)と美濃市担当の坂さん

意向調査実施地区の選定

意向調査実施の候補地は、パターン異なる3地区を選定しました。

・神洞地区

過去に間伐や作業路開設がされ、地域の関心もあり木材生産を中心としたモデル地区となりうる

・藤生中山地区

区有林もあり、境界明確化事業実

施済みでもあることから意向調査を実施しやすい

・片知奥坂山地区

森林の多面的利用や災害防止が求められる地域であるが所有状況が細かく所有者の特定など課題が多い

令和2年度の取り組み

県が実施する市町村担当者研修に市職員と併せて鈴木さんも参加することで研修内容を反映させながら意向調査の実施に向けて作業を進めていくこととしています。

また、昨年度に設置した任意委員会を美濃市森の環境づくり推進委員会の部会に位置づけることで、森林管理制度を推進する体制を整備していきます。

その他にも、字絵図を電子化し地番図として林地台帳システムに搭載することとしています。

今後の課題

両市とも今年度中に、意向調査を実施しますが、まずは、地籍調査済み箇所や境界明確化事業実施箇所といった所有界が分かっているところから着手することになります。

しかしながら、中濃地域は、地籍調査が進んでいない地域であることから、今後は所有界の明確化にも積極的に取り組んでいく必要があると考えます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-33314011

中濃農林事務所まで

スマート林業通信 ③

スマート林業研修会を開催

6月17日、本巣市根尾奥谷の森林でラジコン草刈機による下刈り作業等の実証試験を兼ねた研修会を開催しました。

趣旨は下刈り作業が本格シーズンを迎える前に、最も過酷と言われる下刈り作業をラジコンでできないか。また、体力の消耗を抑えて作業効率を上げる空調服と林業用アシストスーツの試着体験を行いました。参加者は森林技術開発・普及コンソーシアムの会員など33名。傾斜があり障害物の多い山の中でラジコン草刈機は使えるのか。機体が根株に乗り上げて走行不能になるアクシデントもあり、参加者からは「山の中で使うには車高が低い」、「誤伐対策が必要」、「活用には地拵えの段階で根株や障害物の除去が必要」などの意見が聞かれました。

ラジコン草刈機は今回試したクローラ型以外にタイヤで走行するタイプもあり、試験は必要ですが、林地の条件次第で活用の可能性はあると感じました。

また、空調服とアシストスーツは中津川市に本社がある(株)エヌ・エス・ピーから説明をいただきました。空調服はより涼しさを追求して背中へ風が流れるよう改良が施され



ラジコン草刈機



アシストスーツ

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-3512000

森林文化アカデミー

スマート林業推進係まで

飛騨・乗鞍山麓 五色ヶ原

北アルプス乗鞍岳北西山麓に広がる五色ヶ原は、中部山岳国立公園の南端にあたる約3000ha(乗鞍国有林721haを含む)の広大な森林地帯です。

飛騨森林管理署は、この地域を「乗鞍岳生態群集保護林」に指定し、森林生態系からなる自然環境維持、野生生物や遺伝資源の保護、学術研究に役立てることを目的に、亜高山地帯から高山地帯に分布する植生や乗鞍山麓に広がる地形・地質から成り立つ生態系や景観を保護しています。

また、保護林に含まれる五色ヶ原は、「多様な活動の森」として高山市と協定と結び、一緒に保護と利用の両立に取り組んでいます。このため、五色ヶ原の自然や地形を熟知した認定ガイドの同行がこの地域への入林の条件となっています(お問い合わせは「五色ヶ原の森案内センター」)。

五色ヶ原は、山地帯から亜高山帯にわたり、ブナ、ミズナラ、サワグルミなどの落葉広葉樹林、シラビソ、

オオシラビソ、コメツガなどの針葉樹が主体となり、可憐な花を咲かせるウスギヨウラクなどの山野草も多数生育しています。

また、乗鞍岳を源とする多くの溪流と滝、池、湿原、さらにツキノワグマやホンドリス、オオルリやコマドリなど野生動物が生息し、四季折々、自然の多彩な表情を見ることが出来ます。

また、五色ヶ原は、豊かな森を縫うように豊かな水があふれ、切り立った溶岩台地からは、数々の瀑布の轟音が響き、雄池が輝き、日々刻々と表情を変える景色により秘境と呼ぶにふさわしい景観をさらに魅力のあるものへと演出してくれます。

この秘境に設定された3つの散策コースを紹介します。

●「カモシカコース」

♪溶岩を登って下って滝巡り♪

このコースは、標高1360mの五色ヶ原の森案内センターから始ま

り、乗鞍岳の裾野を北から南に横断するもので、途中には、過去の乗鞍岳火山活動の際に流れ固まった溶岩からなる落差160m池之俣神興滝を始めとする4つの大きな滝があります。それぞれの滝は、姿も水量も異なり、受ける印象も豪快であったり、神秘的であったり変化に富んでいます。コース自体は、樹林帯の中を通る見晴らしのきかない登山道ですが、急に空間が広がり目の前が開け大きな滝が目飛び込んでくる感動は印象的です。

●「シラビソコース」

♪神秘的の池と伏流水の滝♪

このコースは、1410mの出会い小屋を起点に、前半は登り、後半は下り、時計回りに一周して出会いは小屋に戻ります。季節や降水により満水と枯渇を繰り返す不思議な池や湧き水を集め苔むした岩の間を流れる沢など、乗鞍岳の恵みが織りなす変化に富んだ水風景が印象的です。



布引滝

コース最後には、轟音を響かせ流れ落ちる横手滝と伏流水が崖を這うように流れ落ちる布引滝が一日の疲れを忘れさせてくれます。

●「ゴスワラコース」

♪巨木の森へ 原生林を歩く♪

このコースは、シラビソコースの中間点にある岩魚見小屋を起点に、約9000年前の乗鞍岳の大規模な火山活動の際に、権現池の火口から流れた溶岩流の上に広がる森を通ります。「ゴスワラ」とは、溶岩が幾重にも重なり合って形成された溶岩台地を表す高山市丹生川町の方言であり、貴重な原生林、長い年月をかけて生育する苔や木々の風景、川床の色が異なる溪流、優美な滝などがみられるコースです。



ゴスワラの森

(飛騨森林管理署)

保安林制度の概要

■ 保安林とは

森林には、水を蓄え洪水を防止する機能、土砂の流出や崩壊を防止する機能、森林浴や森林レクリエーションにより心身をリラックスさせる効果など、様々な働きがあります。このような森林の持つ機能を特に発揮させる必要がある森林を森林法に基づき保安林に指定しています。

■ 保安林の種類

保安林は、指定の目的によって17種類に区分されています。
そのうち、岐阜県内にある保安林は次の9種類です。

- 水源かん養保安林
- 土砂流出防備保安林
- 土砂崩壊防備保安林
- 干害防備保安林
- なだれ防止保安林
- 落石防止保安林
- 保健保安林
- 風致保安林
- 魚つき保安林



■ 保安林の行為制限

保安林では、森林の働きを維持するために次のような行為が制限されており、違反すると法律により罰せられる場合があります。

- 立木竹の伐採、立木の損傷、家畜の放牧、下草・落葉・落枝の採取、土石・樹根の採掘、開墾その他の土地の形質の変更

※詳しくは最寄りの県農林事務所又は県庁治山課森林管理係へお問い合わせください。

岐阜県には約42万haの保安林がありますが、この保安林を守っていくことが私たちの生活を守ることにもつながります。保安林の適正な管理にご協力ください。

【治山課 片田茂之】

森林・林業関係イベントカレンダー (10~12月)

林業者向け

開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
10月7日(水)~ 10月8日(木)	機械集材装置 運転業務特別教育	● 講習時間 7日 学科 8:50~16:10 8日 実技 8:30~17:40 ● 申込:開催日の10日前まで ● 受講料:17,500円(本代含む)(振込み) ● 定員:30名(定員になり次第締め切ります。)	7日 学科 ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 8日 実技 美濃市曾代地内(予定) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月14日(水)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	● 講習時間 学科 9:20~15:40 実技 15:50~16:50 ● 申込:開催日の10日前まで ● 受講料:11,550円(本代含む)(振込み) ● 定員:30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
11月17日(火)~ 11月20日(金)	フォークリフト 運転技能講習 【受講資格】 自動車普通運転 免許所持者	● 講習時間 1日目 学科 8:20~16:30 学科試験 16:30~17:30 2~4日目 実技・試験 8:00~17:30 ● 申込:開催日の20日前まで ● 受講料:32,450円(本代含む)(振込み) ● 定員:20名(定員になり次第締め切ります。)	学科 伊自良中央公民館(山県市大門912-1) 実技 ぎふ農協 旧伊自良共選場(山県市洞田127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
12月3日(木)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	● 講習時間 学科 9:20~15:40 実技 15:50~16:50 ● 申込:開催日の10日前まで ● 受講料:11,550円(本代含む)(振込み) ● 定員:30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
12月16日(水)~ 12月18日(金)	伐木・チェーンソー 作業従事者 特別教育	● 講習時間 16日 学科 8:30~17:10 17日 学・実 8:50~12:00 18日 実技 8:30~17:40 ● 申込:開催日の10日前まで ● 受講料:22,770円(本代含む)(振込み) ● 定員:30名(定員になり次第締め切ります。)	16日(学科)・17日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 18日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



みなさんは外を歩くとき、視線はどこに向けていますか？私は最近、気軽に外出ができないので、いつもより少し、植物に気を配りながら歩くように心がけています。たった20分の通勤路ですが、トベラやイチヨウ、スダジイ、キョウチクトウ、ヒトツバタゴ、アカメガシワなど様々な植物を見ることが出来ます。

先日、私は初めてアカメガシワの花を見ました。アカメガシワは用水路や田んぼの脇など明るい場所によく見られるので、皆さんも一度は目にしたことがあるかと思います。私は、この植物を何度も見たことがありましたが、花を意識したことはありませんでした。(覚えていなかったかもしれませんが。)道端に生えている植物も、その変化を観察していると新しい発見があります。外出できないのは歯がゆいですが、身近な自然を感じるのも大切なことと感じました。

「森林のたより」編集委員 池田 彩

イベント情報

10月1日発行

連載

- 山の歳時記 (182)
- 山のおじゃまむし (351)

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵 (93)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築 (91)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他



木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1734回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	11,000	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
		4 m	16~18cm	9,300	—		
			20~22cm	11,800	—		
			24~28cm	10,600	15,600		
			30cm以上	9,500	17,300		
	6 m	16~18cm	—	—			
	8月4日	ひのき	3 m	16~18cm	14,800		—
			20cm以上	12,000	—		
			4 m	16~22cm	15,000		—
		4 m	24~28cm	12,500	—		
30cm以上			11,500	—			
6 m			16~18cm	—	—		
第1313回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	10,000	—		
		4 m	24~28cm	9,000	—		
			30cm以上	9,000	19,600		
	ひのき	3 m	16~18cm	14,000	—		
		4 m	20~22cm	13,000	—		
			24~28cm	12,000	—		
			30cm以上	11,000	32,000		
		6 m	16~20cm	18,000	—		
		8月5日	まつ	4 m	24~28cm	9,000	—
	30cm以上			9,000	11,000		
	ひめこ		4 m	24~28cm	12,000	—	
			30cm以上	12,000	16,000		
	くり	4 m	24cm以上	15,000	22,600		
第1643回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	10,800	—		
		4 m	24~28cm	10,800	—		
			30cm以上元	12,000	—		
	ひのき	3 m	16~22cm	15,500	27,000		
			24~28cm	12,500	20,000		
			30cm以上元	13,800	—		
		4 m	13cm以下	9,000	—		
			24~28cm	12,800	28,000		
			30cm以上元	14,500	131,000		
	8月6日	まつ	4 m	22~28cm梁	5,000	—	
	30cm以上元		6,000	—			

木材市場

【商況】

長雨による影響とコロナ禍による先行き不安で出材は減少傾向。手持在庫の如何では今後の品不足もあり、スギ30cm上並材には活発な応札あり。スギ4m元木についても良材には活発な応札があるが、価格は伸び悩み。ヒノキ並材は4m、3mともに応札低調。合板向けスギ・ヒノキは、荷動きにやや兆しあり。各大型工場より原木受入制限情報があります。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材は、各工場受入制限は徐々に緩和。(岐阜)

スギ3・4m並材ともに在庫過多を背景に弱気。ヒノキ並材は3・4mともに応札低調。マツ・ヒメコ良材には活発な応札があるが、価格は伸び悩む。広葉樹良材は応札は活発だが並材については応札低調。製品の荷動きが悪く製材工場や合板工場の原木消費は、滞っている状態は当面続きそう。(飛騨)

全般的に感染症の影響及び在庫過多にて買い気は鈍く並材(16~22cm)やや安値で推移。ヒノキ元木、良材2m、3m、4m(高齢材及び枝打材など(特殊材))は旺盛、やや安値で推移。ヒノキ並材3m、4m(16~22cm)は、システム販売の安定供給に伴い横ばいか、やや安価で推移。スギは全般的に品薄だが、全般的に買い気は鈍い。スギ並材は、3m、4m(16~28cm)長良川木協・森の合板へ販売。ヒノキ・スギ6m材は需要減。(東濃)

製品卸売標準価格 (7月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	55,000	(1,819)	↘
	間柱	3000	105	30	1等	55,000	(520)	↘
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	(2,867)	→
	柱	3000	120	120	特等	60,000	(2,592)	→
		3000	120	120	(東濃松) 特等	65,000	(2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集 ウ成 ド材	柱	3000	105	105	国産5層	59,000	(1,950)	↘
		3000	120	120	国産5層	60,000	(2,550)	↘

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (7月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	306	米榎	へム(アラスカ産)	292
	コースト(目荒)	317	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

木取り

木材用語一口メモ

丸太から、必要な寸法・品質の木材を製材すること。木取り法には、柎目木取りと板目木取りがあり、年輪に対して垂直に切り取った板材が柎目材で、水平に切り取った板材が板目材になります。柎目材は板目材に比べると木取りが複雑で歩留まりが悪くなりますが、板の両面の収縮差による反りや狂いが小さいといった利点があります。

(参考)日刊木材新聞の読み方

